

「新基本計画策定のための船橋市市民会議報告書」の概要

1. 会議の位置づけ

船橋市市民会議は、無作為抽出によって選ばれた市民に、本市のまちづくりにおいて今後取り組むべきことについて討議して頂き、その討議結果を市民の皆様から頂いたご提案として、今後検討・策定する新基本計画に活用するために実施した。

2. 実施概要

①開催日時

平成21年11月15日（日）午前10：00～午後5：00

11月29日（日）午前10：00～午後4：00

12月13日（日）午前10：00～午後4：00 全3日間

②討議テーマ（1日2テーマずつ実施）

下記テーマについて、市民の目線から見て優先的、重点的に取り組むべき特に重要な事項を意見として抽出し、こうした取り組みについて、「市民として取り組んでいくこと」、「行政にサポートして欲しいこと」をそれぞれご提案頂いた。

- 1) 「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法」
- 2) 「環境負荷の少ない市民生活」
～自然と共生した都市生活・資源循環型社会～
- 3) 「安心して安全な生活環境」
～防犯・防災関係・地域コミュニティ～
- 4) 「活力ある都市への魅力づくり」
～産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち～
- 5) 「これからの保健福祉」
～児童・障害者・高齢者福祉、保健関係～
- 6) 「分野横断的な取り組み（市民が考えるリーディングプラン）」

③参加者の募集方法と応募状況

船橋市全域の在住者のうち、満15歳以上の男女を対象として住民基本台帳から無作為に抽出された6,000人に募集案内を送付し、応募のあった176名から抽選により30名を選出した。辞退者が1名、全日程欠席された方が1名おり、最終的に28名が参加した。

3. 会議手法

① 会議運営手法の概要

船橋市市民会議は、ドイツで実施されている市民参加手法である「プラーヌク
スツェレ」に準じた実施手法で行った。

② 会議運営の基本的な手順

討議のテーマごとに、以下のような手順で実施した。

<討議の基本的な手順>

- 1 テーマに対する説明と専門家からの情報提供
- 2 5名ずつの小グループ（無作為、討議テーマごとに毎回組み替え）に分かれて議論する（議論は市民のみで行う）
- 3 全員で各グループの討議結果に投票を行う（投票は市民のみが行う）
- 4 事務局が討議結果への投票結果を整理し、各テーマに対する全体意見を作成する

4. 意見の概要

1) 「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法」 (P 15)

「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法」討議結果

魅力		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
都心に近く商業が充実しているなど生活利便性が高い	利便性(交通、生活)	車に頼らない(自転車での移動、鉄道も)	・道路整備と駅前再開発 ・駐輪場整備	1位	11	22.0%	D
	地産に恵まれ、東京に近い	地産と安全に取り組む	農業と市街化のバランスの取れた長期計画の策定	6位	4	8.0%	A
	買い物がしやすい	地元産業振興のため、地元で買い物をする	駅前の再開発	6位	4	8.0%	D
	都心に近い、ショッピングセンターが多い	・ショッピングセンターの積極的利用 ・駅前の美化	駅前の再開発(船橋駅など)	9位	1	2.0%	E
	公共施設、商業施設も整っている	公共施設の利用を高める	・公共施設の利用方法などの広報を充実させる ・地域新聞など	10位	0	0.0%	C
「都心に近く商業が充実しているなど生活利便性が高い」に関する提案 合計					20	40.0%	
緑や海など自然が豊かである	緑が多い自然が豊か	保全活動(緑化)直売所(地元野菜など)を利用	・乱開発を防ぐ条例等の設置 ・直売所の設置	2位	10	20.0%	E
	緑と海のある街	個人個人が積極的に清掃に心がける(公園・道路)各家庭での庭作り三番瀬等、海岸の写真展を開催する	・四季を感じる公園作りをしてほしい(行事も) ・公園全てにゴミ箱を設置 ・写真展等の協力 ・海への交通の充実	3位	6	12.0%	B
	海を市民の場として広げていきたい	海場の清掃活動	・海場の整備 ・公園設備 ・海を使った教育施設 ・物産 ・市場と食堂	8位	2	4.0%	C
「緑や海など自然が豊かである」に関する提案 合計					18	36.0%	
自警団がある	自警団のモデル地区あり	横展開の協力活動をする	情報提供と警察力強化へのバックアップ	4位	5	10.0%	A
歴史的資産が豊か	遺跡・歴史的なものが多い街	自分たちの住んでいる街の歴史等を知る(市民グループ作り)洗い出しをする	・資料提供→公民館サークルへ呼びかけ ・市民に対しても国民に対してもPRを!(マスコミ等を利用して良いのでは?)	4位	5	10.0%	B

「船橋市の問題点とその改善方法」討議結果

問題点		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
道路などインフラの整備が不十分	自転車・歩行者道がわからない	町会、自治会、各家庭での取り組み	小・中学校でのルール指導	2位	9	18.0%	C
	道路問題(道路が狭い、交通量が多い)	通学路を中心とした市民パトロールで事故防止	・コミュニティバス ・街路灯の設置 ・道路整備 ・標識の設置	5位	5	10.0%	E
	インフラ整備が悪い	家の前の道路を清潔に、又整備をする	市民の声が反映されたバリアフリー化	8位	4	8.0%	A
「道路などインフラの整備が不十分」に関する提案 合計					18	36.0%	
治安が悪い	治安が悪い	自治会・自警団のパトロール強化	防犯カメラと街路灯の設置(モデル地区設定と横展開の明示)	1位	10	20.0%	A
	治安が悪い	・地域コミュニティの強化 ・ボランティアの積極的参加	・左記への援助、サポート ・防犯カメラ設置の補助金 ・警察官のパトロール	9位	1	2.0%	D
「治安が悪い」に関する提案 合計					11	22.0%	
市のイメージが明確でなく知名度が低い	市の内外に対するPR不足(知名度が低い)	・市民コミュニティに参加するように心がける ・企業参加を働きかける→周りの人にもPRする	・目玉作りを積極的にPRし、利用しやすくする(文化施設・史跡・海岸線等のPR) ・自衛隊との共催イベントへの働きかけ	5位	5	10.0%	B
	市としての特徴がない	各地区が特徴のある地域づくりに取り組む(祭り等)	まちづくりの情報提供	5位	5	10.0%	C
「市のイメージが明確でなく知名度が低い」に関する提案 合計					10	20.0%	
ゴミ処理方法の改善	ゴミ処理方法の改善	分別意識を高める	分別のルール策定	3位	6	12.0%	D
公共施設の充実	公共施設が少ない(交番、図書館、スポーツ施設、美術館、集会場)	市の広報だけでなく、地元の回覧板などを利用して、公共施設が使えることを告知	施設の建設、告知(広報)	3位	6	12.0%	E

2) 「環境負荷の少ない市民生活」 (P 19)

「環境負荷の少ない市民生活」討議結果 (その①)

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
車利用の抑制	CO ₂ の削減(マイカー利用を減らす)	・車の規制 ・公共交通の有効利用をすすめる	・インフラ整備 ・道路拡幅・好アクセス化・レンタサイクル	1位	13	17.3%	A
	車社会への抵抗	・自転車をなるべく使う ・地産地消 ・公共機関を使う	・駐輪場の増設を! ・コミュニティバスの増便	8位	4	5.3%	C
	大気汚染(排ガス対策)	・公共交通機関の利用推進 ・自転車利用	・公共機関の整備(駅にエレベーター、エスカレーターの設置) ・カーシェアリング(自動車及び自転車)	8位	4	5.3%	D
「車利用の抑制」に関する提案 合計					21	28.0%	
省資源型のライフスタイルの確立	使い捨てから使い切りへの移行(エコ商品へ)	・エコバックの利用 ・リサイクルシステムの利用	・情報開示 ・エコポイント	2位	9	12.0%	E
	資材の使用量を減らす	・レジ袋を使用しない ・音姫の利用 ・トレー・ペットボトルのリサイクル ・洗剤の少量化(アクリルたわしの使用)	・包装簡素化を企業に呼びかけ ・音姫の増設 ・エコ設備の積極利用へ	6位	5	6.7%	C
	無駄のない生活をする(生活レベルを落とす)	・使っていない電化製品の主電源を切る ・古着(衣類)を地域リサイクル(使い捨てNO!)	フリーマーケットを市全体でも開催する	8位	4	5.3%	C
	リサイクル(ゴミ問題)	・エコバックの利用 ・雨水の再利用(貯めた雨水で水やり等)	・リサイクル活動の際の補助金・企画推進 ・公共施設での雨水利用 ・企業への簡易包装励行	12位	2	2.7%	D
「省資源型のライフスタイルの確立」に関する提案 合計					20	26.7%	
ゴミの適正処理	ゴミの減量化	・各家庭での問題意識付け ・分別の徹底	ゴミ収集ルールの見直し(ゴミの再分別化)	2位	9	12.0%	A
	ゴミ問題(・タバコ・ゴミ区分・道路清掃)	・タバコ…1人1人のマナー向上 ・ゴミ区分…ゴミを出さなくする努力・工夫をする ・マイバックの使用を心がける	・タバコ…喫煙区域の明確化 ・ゴミ区分…区分を増やす(取り決めをしっかりとってもらう) ・レジ袋有料化の推進	4位	7	9.3%	B
	ゴミ処理方法	・家庭内で話し合う ・家庭内で処理	・ゴミ処理のPR ・エコ商店の認定と推進(シールの貼付)	14位	1	1.3%	E
「ゴミの適正処理」に関する提案 合計					17	22.7%	
自然環境の保全	緑化活動	緑のカーテン設置	・街路樹の整備 ・利便性の良い立地に市民農園を	5位	6	8.0%	D
	・自然との共生 ・三番瀬を魅力ある海にする ・緑を増やす	近隣の緑化・清掃等の活動	・市民活動へのサポート(強力な) ・開発に対するコミュニティとの一体化	6位	5	6.7%	A
	「自然環境の保全」に関する提案 合計					11	14.7%

「環境負荷の少ない市民生活」討議結果（その②）

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
公害の抑制	環境問題(1)(・排気汚染・工場汚染)	通報・監視(・アイドリングストップ運動・排水違法業者(工場事業主))	通報に関する指導・取り締まり等の強化	8位	4	5.3%	B
	公害環境汚染の防止	・電車・バスの利用 ・自転車の利用 ・家庭ごみの削減	・南北交通網の整備 ・企業によるゴミ処理の徹底 ・自転車専用レーン	12位	2	2.7%	E
	「公害の抑制」に関する提案 合計			/	6	8.0%	/
街の美化(落ち葉の清掃)	環境問題(2)(自然環境等)例)落ち葉による排水溝の詰まり	落ち葉の清掃	街路樹の剪定	15位	0	0.0%	B

3) 「安心で安全な生活環境」 (P 23)

「安心で安全な生活環境」討議結果 (その①)

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
地域コミュニティの活性化	自治会・町会ボランティアの活用(防災と防犯)	自治会・ボランティア活動の参加への意識向上	自治会のサポート(報償制度確立・住民への情報提供)	2位	8	11.6%	A
	町会・自治会の充実	・マンション・アパート住民への参加要請 ・町会行事と活動のPR	事例を調査・研究して具体的にPR	6位	6	8.7%	E
	コミュニティの活性化	①地域での挨拶をする ②声をかけて資料配布	警察の掲示板を活用	10位	3	4.3%	D
	コミュニティ高齢化への対応を行う ・新・旧交流での意識向上「船橋都民から船橋市民へ」	・町会・自治会の再組織化(本質としてのもの) ・各種勉強会の実施(例:手押ポンプ…)	・場所の提供 ・事例(成功・失敗)の各自治会への提供	3位	7	10.1%	C
「地域コミュニティの活性化」に関する提案 合計					24	34.8%	
一人ひとりの防犯・防災への意識と備え	防災(一人一人が危機意識を持つ)	①小規模単位で防災訓練をひんぱんに行う、参加! ②訓練結果のフィードバック	小規模単位での防災訓練の指導と補助(カンパン等)	3位	7	10.1%	D
	防災(インフラの確保;水「消防のみ水」→真間川の利用などを考える)	道具に対するトレーニング(ポンプなど) 市民意識の向上させる(訓練に参加)	・インフラの整備(手押しポンプ) ・近隣都市との協力体制の構築	3位	7	10.1%	C
	防犯意識の向上	・外部者に対するアピール ・防犯責任者の表示(大人も子供も)あいさつ運動の展開	・コンビニと市の提携(24時間!) ・市全体で「あいさつ運動」広める ・交番の増設、交番の機能強化(人がいない交番が多い)	8位	4	5.8%	B
	防犯(自助!)	個々に意識を高める(ex. 防犯ブザーの携帯)	①電柱に警報ブザーを設置(防犯にも防災・人助けにもなる) ②防犯灯(LED)を増やし明るくする ③犯罪の多発している所へ防犯カメラを増やす	10位	3	4.3%	D
「一人ひとりの防犯・防災への意識と備え」に関する提案 合計					21	30.4%	
地域の防犯・防災体制づくり	安心で安全な生活環境づくりのため、「町会・自治会」「市役所」「警察・消防署」と連携を強める。	・かけこみ所、避難所マップの作成に協力 ・誰でも訪れる場所をつくり、気軽に相談する ・地域でも行事に参加、建物の耐震チェックに協力	・防犯カメラの計画的な設置 ・身近に感ずる防犯・防災交通マップの作成 ・学校との連携	1位	11	15.9%	E
	防災体制の確立	(個人では備蓄も限界があるので)町会レベルでの備蓄	町会などの小単位の備蓄に対する援助	12位	2	2.9%	B
	防犯体制の強化 ・パトロールの強化 ・設備の増強	今風となり組によるパトロール実施→「設備に問題のある地区を市に知らせる」	積極的な設備計画の策定と実施	13位	0	0.0%	C
「地域の防犯・防災体制づくり」に関する提案 合計					13	18.8%	
街の美化運動	市の美化運動(シンガポールのイメージ)〈防犯・防災〉	各住民の自助努力	条例制定 及び バックアップ(広報等)	7位	5	7.2%	A

「安心で安全な生活環境」討議結果（その②）

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
交通安全の確保	道路の整備<防犯・防災>	各住民のモラルアップ (個人商店の人は歩道に商品を置かない、歩道の自転車操行禁止等)	・道路の拡幅 ・舗道の整備 ・違法駐車駐輪等	8位	4	5.8%	A
	違法駐車根絶 ①救急車両のジャマ ②犯罪につながる事故	通報などの情報提供	警察力の強化(質量とも)	13位	0	0.0%	B
	「交通安全の確保」に関する提案 合計				4	5.8%	

4) 「活力ある都市への魅力づくり」(P27)

「活力ある都市への魅力づくり」討議結果

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
独自のブランドなど地域のイメージづくり	船橋のイメージ作り	・船橋の良さ、歴史を町内会でまとめる ・市のイベントへの参加	市民祭りを全国的にPR(ばか面おどりのコンクール)	2位	11	15.9%	E
	船橋のブランドを作る(観光船橋「坂の上の雲」タイアップPR)	住民からのブランド起こし(イケメンコンテスト、地元ヒーロー、ドラマ誘致・有名人)	【市にサポートして欲しいこと】 広報等バックアップ(市との連携等)	3位	9	13.0%	D
	船橋を想起させるブランドの確立	地産地消の推進(まず地物を知る)	生産地区の安全安心を発信する仕組みを作る(土壌検査)	8位	3	4.3%	B
	船橋市の目玉をつくる	アイデアの創設	専門家やプロジェクトに提案してもらい実現する	10位	2	2.9%	A
	目玉がない	目玉となる商品・場所を作る	市民・市・企業で一体となり考える	14位	0	0.0%	C
「独自のブランドなど地域のイメージづくり」に関する提案 合計					25	36.2%	
地域の一体感の創出	船橋市全体の一体感を作る	・市民応援団を作る ・試合を見に行く!	スポーツチームの誘致	1位	14	20.3%	C
地元産業の振興	目玉商品をつくる	船橋産を使う、買う(市民は)	船橋産の認証とポイントの付与	5位	7	10.1%	E
	産業の活性化	地域の商店等を出るだけ利用	ベンチャー企業の誘致と更なる助成	6位	4	5.8%	A
	地元利用(地産地消)	船橋地元住民の利用	・場の提供等(船橋市場の活用) ・企画運営支援	8位	3	4.3%	D
	立地を生かした経済活動ハブ化	地元を知る(自治会単位での工場見学)	「知る」為の情報提供	14位	0	0.0%	B
「地元産業の振興」に関する提案 合計					14	20.3%	
暮らしやすい環境づくり	高齢者と若い人達が住みたいと思う環境作り	託児所の提供・高齢者と若い人が集う場所(空商店や学校や空家等を利用)	援助と助成と誘致	4位	8	11.6%	A
商店街の魅力の向上	魅力ある商店街をつくる	案内マップを作成	子供と高齢者が使いやすいインフラ整備	10位	2	2.9%	E
	独特な商店街を作る	・どんどん参加して楽しむ ・市民会議等で話し合いの機会を作る	地元の情報を広報・地域新聞・回覧板等で発信	10位	2	2.9%	C
	大型店舗～商店街の展開・活性化	地元の企業(商店などに)興味をもつ	PR等 集客をテーマとし、出店をサポート	13位	1	1.4%	D
「商店街の魅力の向上」に関する提案 合計					5	7.2%	
知識の伝承と潜在活力の活用	知識の伝承と潜在活力の活用	・地域交流の向上 ・成功・失敗の事例の活用	①情報の成功・失敗の事例の提示 ②今あるものの活用も含め、利用・協力の体制	10位	2	2.9%	B

5) 「これからの保健福祉」(P30)

「これからの保健福祉」討議結果

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の 類型	各グループの提案						
子育て家庭 への支援	私立保育園の持病がある子の受け入れ体制に問題	・地域・市・国に呼びかけるサークルをつくる(世の中の認知度UP!)	・私立でなく市立の保育を増やし、あき教室で保育園。 ★泣く外来をやる。(泣いたら行っていい場所。Ex)児童ホーム・毎週)	1位	13	17.3%	D
	子育て(負担の軽減)	一人一人が自分の問題として自覚する。周りにも気を配る。	・一時保育を利用できる枠を増やす。 ・“相談員”を週1程度、保育園・幼稚園・児童ホームに派遣。	2位	9	12.0%	B
	子育て支援(含親)	声がけをする	心理カウンセラー士の雇用と要請	9位	2	2.7%	A
	子育て支援	学校(空室)・公民館の活用とボランティアの協力・参加。(高齢者・経験者)	ハード面の活用支援・ソフト面の充実化	9位	2	2.7%	E
「子育て家庭への支援」に関する提案 合計					26	34.7%	
高齢者、障 害者の社会 参加の促進	高齢者と障害者の雇用	心理的・社会的偏見をなくす	・シルバー人材センターの宣伝 ・優良企業としてサポート	3位	8	10.7%	A
	障害者が活動しやすい環境づくり	* 歩道の利用マナーの向上 ・商品の陳列をしない ・自転車放置をしない ・障害者に配慮した歩行(点字ブロックなどバリアフリー確保)	・歩道への商品・看板の設置 禁止の指導	6位	6	8.0%	C
	介護予防事業への参加促進	・高齢体験 ・「老人会」の名前を変更	・公民館の活用(職員の増加) ・敬老会等での催し物への参加への声掛け	8位	5	6.7%	A
	高齢者をもっと元気に!!	・市の行事に関心をもち参加に!! ・周囲にも参加よびかけを!	ウォーキングコース、地図の設定、作成	9位	2	2.7%	B
「高齢者、障害者の社会参加の促進」に関する提案 合計					21	28.0%	
世代を越え た支援と交 流の環境整 備	子育てと高齢者福祉との連携	お互いを理解しあう。	保育園、幼稚園、障害者、高齢者のコラボレーション施設	3位	8	10.7%	B
	地域の集会所設置	・趣味を中心にしたコミュニケーションの場づくり ・世代を問わない集会場所(児童、小～中学生・高齢者～)	・公共施設(小中学校の空き部屋等) ・既存施設(福祉センター、図書館、公民館)のPR	9位	2	2.7%	C
「世代を越えた支援と交流の環境整備」に関する提案 合計					10	13.3%	
医療環境の 充実	障害・高齢・児童医療費支援	健康増進の取り組み	医療費の補助(無料化ではない)	3位	8	10.7%	E
介護者の支 援	・親・介護者にゆとりがない。(介護疲れ・育児疲れ・虐待)	・認知症サポーター養成講座などに参加して認知度UP。 ・おやじの会をやる。	・手続きの簡素化 ・養成講座のPR(ハガキなど直接)地域の市職員の方が直接とどける。	6位	6	8.0%	D

6) 「分野横断的な取り組み（市民が考えるリーディングプラン）」（P33）

「分野横断的な取り組み（市民が考えるリーディングプラン）」討議結果

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
ブランド化などによる船橋市の知名度アップ	船橋としての食の打ち出しが薄い	地元の価値を知る	・市による食の宣伝→イベント等での優先的地元品打ち出し	1位	12	16.0%	E
	★船橋市の認知度アップ No.1	船橋にゆかりがある人(太宰治、川端康成、源頼朝など)を全面に出して街歩きマップ作成	・史跡等の資料を提供してもらう ・市のPRボランティアを募集	3位	6	8.0%	C
	★船橋市の認知度アップ No.2	船橋体操を実施	・「船橋の日を設定」(2/7、8/4) ・出身有名人(文化人・芸能人)をPR大使に ・船橋体操を作る	3位	6	8.0%	C
	船橋ブランド作り	地産・地消、プロスポーツ立上げ	情報の共有化促進(広報活動強化)	8位	4	5.3%	D
	★船橋市の認知度アップ No.3	積極的参加	市場をドーム化(イベント及び市場の一体化)	11位	3	4.0%	C
「ブランド化などによる船橋市の知名度アップ」に関する提案 合計					31	41.3%	
支え合いと交流の環境整備	世代を超えた交流できる街	・子供の会、おやじの会、婦人会、シルバー会等を作る。 ・地域・一般の人が先生になる教室を週に1回でも開催	学校等の空教室等を会(サークル)に提供	2位	10	13.3%	A
	船橋独自の福祉政策	助けて育てる(船橋都民→船橋市民)	環境のコーディネート(助けて育てるをやっていく為に)	3位	6	8.0%	E
	少子・高齢化への対応	サポーターになる	・情報の共有化促進(広報活動強化) ・子育て支援 ・高齢者支援の講習会開催等	6位	5	6.7%	D
	助け合える幸せな街作り	若い世代～高齢者世代のコミュニティ活動参加	情報の共有化促進(広報活動強化)	14位	1	1.3%	D
「支え合いと交流の環境整備」に関する提案 合計					22	29.3%	
地域活動の活性化	ネットワークが構築された街	地域活動や会(サークル)の詳細情報提供	・船橋市のインターネットに「市民活動」のページを設ける。 ・会(サークル)の把握と連絡網を作る。	6位	5	6.7%	A
スポーツの振興	スポーツの船橋	みんなで楽しむ	施設や土地を利用し、スポーツ大会企画&宣伝	8位	4	5.3%	E
住みやすい街づくり	みんなが住みやすい街づくり	・各自で清掃活動及び緑化活動に、積極的に行う。 ・防犯意識を高める。	・活動(ボランティア)の積極化の為にポイント付与(ex.市川市のエコボカード) ・交番の質・量・強化の要望	8位	4	5.3%	B
医療の充実	医療充実の街	セカンドオピニオンをする。積極的にする。	・専門医の充実、ネットワーク化 ・市民当事者の声を反映するシステムを作る。	11位	3	4.0%	A
財政の健全化	財政の健全化(高齢化が進むことを見越して)	地産地消、地元での買い物しやすい街づくり	無駄を無くす	11位	3	4.0%	B

5. 討議結果の特徴と成果

■参加意識の高い前向きな提案

- ・提案の内容全般において、主として市の取り組みを求める陳情・要望の姿勢からの提案ではなく、市民が行っていくべき事について積極的に提案や意見が示されており、まちづくりに対する主体的、前向きな姿勢での議論がなされた。

■市民の目線にたった特徴的な提案

- ・「産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち」の討議において、企業誘致や創業支援、既存産業の振興といった一般的な産業振興策ではなく「地域ブランド」に係る提案が最も高い支持率を得たほか、「児童・障害者・高齢者福祉、保健関係」の討議における「泣く外来（泣いたら行って良い場所）」といった市民の生活実感に根ざした特徴的な提案が最も高い支持率を得るなど、市民の目線にたった議論により、特徴的な取り組みの提案が見られた。

■質疑応答・意見交換に見られた主体的な問題意識

- ・発表時の質疑応答・意見交換において、市民が取り組むべきことや意識改革すべきことなどについて主体的な議論がなされたほか、市の取り組みに対する意見においても、市政への高い関心と問題意識にもとづく踏み込んだ議論がなされた。

■今後の課題

- ・この市民会議の成果は、市民の目線から見いだされた優先的、重点的に取り組むべき課題とその対応策が提案されている。
- ・今後、新基本計画の施策を検討する中で、提案された市民のアイデアを、選択と集中の視点にたった特色ある計画づくりに有効に活用することが望まれる。
- ・無作為抽出によって選ばれた偏りのない集団であるにもかかわらず、9割以上の参加者が引き続き市民参加に前向きな姿勢を示している。この発掘した人的資源の活用を図ることも、今後の課題と言える。



11月15日 市長挨拶

基調講演

討議の様子

山梨学院大学 日高教授